

# エムラパッチをご使用の患者さんへ



## はじめに

この冊子はエムラパッチを安全に使用していただき、適切な麻酔効果を得るために必要な情報をまとめたものです。エムラパッチを使用する前によくお読みいただき、書かれていることが理解できなかつたり、不安に感じる点がある場合は医師または薬剤師にご相談ください。

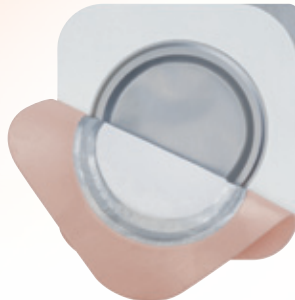
# エムラパッチについて

エムラパッチは注射予定部位や皮膚レーザー照射予定部位に貼ることで麻酔効果が得られ、注射やレーザー治療の痛みをやわらげるお薬です。保管に際しては、折り曲げたりしないようにご注意ください。

エムラパッチの外観写真



エムラパッチをはがした写真



## エムラパッチを貼る前に

エムラパッチを貼る際には、以下の事項をお守りください。

1. 必ず医師に指示された場所に貼ってください。
2. 傷ややけどをしている場所には貼らないでください。
3. 性器皮膚及び粘膜には使用しないでください。
4. 眼や口の中に入らないようにご注意ください。  
(お子様に使用する場合は、なめたりして口の中に薬液が入らないようにご注意ください。)
5. エムラパッチをはがす際は、ゆっくりとはがしてください。
6. 注射をする場合は、エムラパッチを皮膚からはがし、薬液を拭き取った後、針を刺す場所をアルコール綿などで消毒してから行ってください。

# お子様に貼る場合の注意・ポイント

## 注意

お子様に貼る場合は「年齢・体重」を考慮して必要最小枚数を貼り、下記の最大貼付枚数、最大貼付時間を超えないようご注意ください。

年齢(月齢)	体重	最大貼付枚数	最大貼付時間
0~2ヶ月	—	1枚	60分
3~11ヶ月	5kg以下	1枚	60分
	5kg超	2枚	60分
1~14歳	5kg以下	1枚	60分
	5kg超10kg以下	2枚	120分
	10kg超	10枚	120分

決められた枚数よりも多く貼ってしまったり(過量使用時)、決められた時間よりも長時間貼ってしまった場合はすぐに医師にご相談ください。

## ポイント



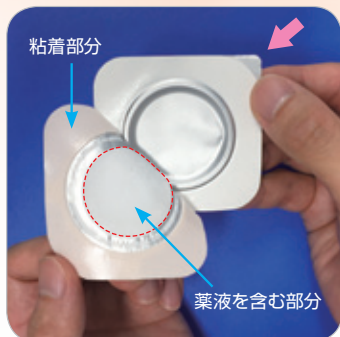
予定されている処置について、保護者の方はお子様へ事前に伝えてから、処置の痛みをやわらげるためにエムラパッチを貼るということ併せて説明してください。また、60分間はがさないで貼り続けることもお話しし、途中ではがれてしまわないようにしてください。

### 幼児への説明例

〇〇ちゃん(くん)は、今日△△をするから、そのときに痛いのが少しになるように、このお薬テープを60分間貼るよ。  
途中ではがしてしまうと、お薬がきちんと効かなくなってしまうから、はがさないようにしてね。

# エムラパッチの使い方

- ① ベージュ色部分と矢印のアルミ部分の先端を持ち、左右にひろげるようにして、はがしてください。



白い円形部分に薬液がついています。  
薬液にふれないようにお気をつけください。

- ② 処置予定部位に貼る。



中央の薬液部分を手で押し付けないようにしてください。

※ 必要に応じて、エムラパッチに貼った時刻を書いてください。また、エムラパッチを貼った場所がわかるように印をつけてください。



必ず本冊子5～6ページに印をつけられたところに貼ってください。

③ 60分間貼った状態を保つ。



④ エムラパッチをはがす。



エムラパッチをゆっくりと  
はがしてください。

⑤ 皮膚についた薬液を拭き取る。



ティッシュやガーゼなどを  
用いて拭き取ります。

※ 注射をする場合はアルコール綿などで消毒してから処置を行います。

※ お子様には貼る場合は、年齢・体重によって最大貼付時間が異なります。  
本冊子2ページの注意を必ずお守りください。

# エムラパッチを貼る場所

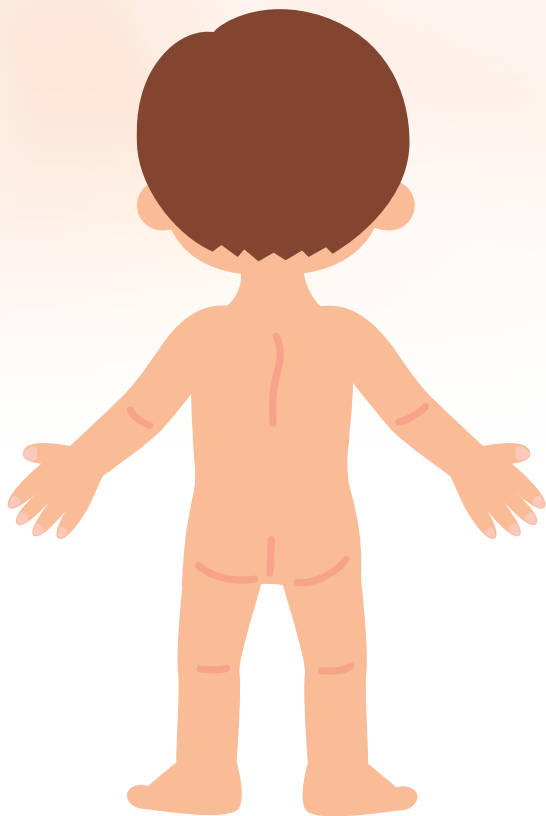
※ エムラパッチを使用する前に本冊子2ページの注意・ポイントをご確認ください。



Memo

保護者の方々へ

エムラパッチを下記の指示された場所に貼ってください。



Memo

## エムラパッチの使用時に注意が必要な副作用

貼っている最中、貼り終わった後に、以下のような症状を少しでも感じた場合、エムラパッチをはがし、薬液をぬぐい、直ちに主治医にご連絡ください。

1. 不快感、めまい、息苦しさ など  
(ショック、アナフィラキシー)
2. 意識の低下、手足のふるえ など  
(意識障害、振戦、けいれん)
3. めまい、頭痛、吐気、息苦しさ など  
(メトヘモグロビン血症)
4. ねむけ、けいれん、知覚異常、口唇・爪が紫色になる、頭痛 など  
(中枢神経抑制作用、心機能抑制作用)

## エムラパッチの使用時に気をつけること

この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合は医師または薬剤師にご相談ください。

また、次の疾患や症状をお持ちの方は、医師の指示を逸脱して高用量を使用した場合、副作用あるいは原疾患を悪化させる可能性がありますので、医師の指示を必ず守ってご使用ください。

- ・グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PD) 欠乏症の人
- ・心臓の刺激伝達障害のある人
- ・肝臓又は腎臓に重篤な障害のある人

以下の療法の予定がある場合は、このお薬を使用する前に、医師または薬剤師にご相談ください。この薬のベージュ色中央円形部分にアルミニウムを使用しているため、貼った場所が高温になったり、火傷を引き起こしたりする可能性があります。

- ・電氣的除細動(DC細動除去、AED除細動等)
- ・MRI(核磁気共鳴画像法) 検査
- ・ジアテルミー(高周波療法)